

2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社アイ・オー・データ機器 上場取引所 東
 コード番号 6916 URL https://www.iodata.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 尚則
 問合せ先責任者 (役職名)社長室 室長 (氏名)真田 秀樹 (TEL)076(260)3377
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	43,575	0.4	1,241	△22.8	1,792	9.9	1,335	15.6
2020年6月期第3四半期	43,423	△3.6	1,608	△16.2	1,631	△17.2	1,155	△11.6

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 1,557百万円(7.3%) 2020年6月期第3四半期 1,451百万円(18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	101.56	—
2020年6月期第3四半期	87.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	43,067	29,063	67.1
2020年6月期	41,400	28,293	67.9

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 28,881百万円 2020年6月期 28,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	55,000	△2.1	1,750	△17.7	1,950	△23.3	1,350	△28.0	102.03	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年6月期3Q	14,839,349株	2020年6月期	14,839,349株
2021年6月期3Q	2,003,331株	2020年6月期	1,607,511株
2021年6月期3Q	13,154,067株	2020年6月期3Q	13,231,853株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、各種政策を通じて段階的に経済活動の再開が進められましたが、年が明けて再び緊急事態宣言が発令される等、未だ感染収束の見通しは立たず、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループに関係するPCや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の国内市場では、個人によるテレワーク設備の導入やゲーム等の巣籠もり需要、教育環境のICT整備関連の需要は堅調に推移しました。また、企業系の需要は前期のPC更新需要の反動や活動制限等の影響から低調が続いていましたが、年度末には持ち直しの兆しが見られました。生産面においては、半導体や液晶パネル等の不足が深刻化し、価格や供給が乱れました。

こうした状況の下、当社グループは、堅調な個人や教育市場向けを中心に商品の拡充・拡販に努めると共に、安定供給を目指し主力商品の在庫確保に努めました。また、健康保険証の資格確認手続きのオンライン化に対応する専用端末の開発・営業を通じて、新たな医療事務市場の開拓を進めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は435億75百万円（前年同期比0.4%増）となりました。利益面につきましては、事業活動の制限等から販売費及び一般管理費は抑えられたものの、原価率の上昇により、営業利益は12億41百万円（前年同期比22.8%減）となりました。営業外収益に為替差益4億86百万円を計上したことにより、経常利益は17億92百万円（前年同期比9.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億35百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の営業の概況を品目別に説明いたします。

[メモリ]

当部門の売上高は20億51百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

ゲーム機増設用SSDの競争激化による価格とシェアの低下、増設メモリのPC更新需要の反動減、SDカードの販売不振が響きました。

[ストレージ]

当部門の売上高は82億86百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

前年同期との比較において、光ディスクドライブの販売は伸び悩みましたが、TV録画需要の増加等から主力のハードディスクの販売が伸びました。

[液晶]

当部門の売上高は138億3百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

月を追う毎にパネル調達の厳しさは増し、止む無く一部に欠品も生じましたが、テレワークや巣籠もり需要、学校への大型モニター導入等の堅調な需要に応えるべく、主力モデルの在庫確保に努めました。

[周辺機器]

当部門の売上高は63億81百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

Web会議や動画配信ニーズの高まりを受けて、USBカメラやスピーカーフォン、ビデオキャプチャー等の映像分野が増収となりました。NASや無線LAN等のネットワーク分野の売上は前年実績並を維持しました。

2021年3月のシステム本稼働は10月に見送られましたが、健康保険証の資格確認手続きオンライン化に対応する専用端末「APX-MEDICAL/QC」の販売を開始しました。

[特注製品]

上述の品目のカスタマイズやOEM販売を主とする当部門の取引は手控えられた為、売上高は5億15百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

[商品およびその他]

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門の売上高は125億35百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて16億66百万円増加し、430億67百万円となりました。これは、現金及び預金が37億76百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が28億16百万円、たな卸資産が25億21百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8億96百万円増加し、140億3百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3億51百万円、短期決済資金としての短期借入金が15億円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて7億70百万円増加し、290億63百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益13億35百万円の計上と、剰余金の配当により利益剰余金が3億70百万円減少、自己株式の取得等により自己株式が4億52百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年12月23日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,353	5,577
受取手形及び売掛金	10,199	13,016
商品及び製品	7,740	10,463
原材料及び貯蔵品	2,639	2,437
その他	1,042	1,395
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,974	32,888
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,651	3,653
その他(純額)	2,861	2,713
有形固定資産合計	6,512	6,367
無形固定資産		
投資その他の資産	1,077	854
その他	2,852	2,972
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,836	2,957
固定資産合計	10,425	10,178
資産合計	41,400	43,067
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,266	7,618
短期借入金	100	1,600
1年内返済予定の長期借入金	375	375
未払法人税等	348	195
ポイント引当金	7	7
賞与引当金	—	298
その他	3,841	2,967
流動負債合計	11,939	13,061
固定負債		
長期借入金	656	375
役員退職慰労引当金	83	83
リサイクル費用引当金	315	331
製品保証引当金	28	34
株式給付引当金	—	23
その他	84	93
固定負債合計	1,168	941
負債合計	13,107	14,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,600	4,642
利益剰余金	20,657	21,623
自己株式	△1,190	△1,642
株主資本合計	27,655	28,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187	249
繰延ヘッジ損益	227	298
為替換算調整勘定	52	123
その他の包括利益累計額合計	467	670
非支配株主持分	170	182
純資産合計	28,293	29,063
負債純資産合計	41,400	43,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	43,423	43,575
売上原価	35,032	35,933
売上総利益	8,390	7,642
販売費及び一般管理費	6,782	6,401
営業利益	1,608	1,241
営業外収益		
受取利息	12	2
仕入割引	34	27
為替差益	—	486
持分法による投資利益	24	37
その他	86	101
営業外収益合計	157	655
営業外費用		
支払利息	1	2
為替差損	18	—
売上割引	92	99
その他	21	1
営業外費用合計	134	104
経常利益	1,631	1,792
特別利益		
投資有価証券売却益	10	0
特別利益合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	1,642	1,793
法人税、住民税及び事業税	442	464
法人税等調整額	△1	△25
法人税等合計	441	439
四半期純利益	1,200	1,354
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,155	1,335

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,200	1,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	61
繰延ヘッジ損益	184	70
為替換算調整勘定	33	61
持分法適用会社に対する持分相当額	2	9
その他の包括利益合計	250	203
四半期包括利益	1,451	1,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,406	1,539
非支配株主に係る四半期包括利益	45	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社の中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

1. 取引の概要

2020年11月に中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員を対象としたインセンティブ・プラン「従業員向け株式報酬制度」(以下「本制度」という。)を導入いたしました。

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託を設定し、信託が当社普通株式(以下「当社株式」という。)の取得を行い、従業員のうち一定の要件を充足する者に対して、信託を通じて当社株式を交付する従業員向けインセンティブ・プランであります。なお、信託による当社株式の取得資金は、全額当社が拠出するため、従業員の負担はありません。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期連結会計期間末134百万円、125,000株であります。

3. 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。